

第31回 五胡十六国時代と北朝

1 五胡十六国時代

- ・華北では、()、()、()、() () など5つの異民族が侵入し、小さく短命な王朝をたくさん建国した。
- この時代の華北を()という。

☆前秦 (351~394年)

- ・五胡の氐が建国し、一時的に華北を統一したが、淝水の戦いで東晋に敗れた。

☆ () (386~534年)

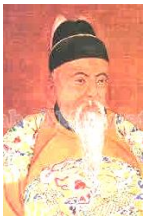
都… () ※現在の大同

◆拓跋珪 (道武帝) (在位 386~409年)

- ・五胡十六国時代の混乱の中から、()の()が力をつけ、北魏を建国した。

◆ () (在位 423~452年)

- ・439年、華北(中国北部)を統一した。
- ・442年、新天師道を開いた()を重用して()を国教化し、仏教を弾圧した。



孝文帝

政策の内容については、賛否両論ある。改革は評価されるが、北魏分裂の要因を作ったとも。

◆ () (在位 471~499年)

- ・()を行い、鮮卑の伝統的な服や言葉を禁止し、中国風にした。
- 鮮卑は漢民族に同化していったが、反発する鮮卑の人も多かった。
- ・494年、都を平城から()に移した。
- ・485年、豪族の大土地所有を抑えるため、農民に一定の土地を与えて、その土地をもとに徴税を行う()を導入した。
- ※奴婢や耕牛にも土地を支給した。
- ・戸籍の調査や徴税を行うため、()という村落制度を導入した。



2 隋の統一

- 534年、北魏は六鎮の乱で（ ）と（ ）に分裂した。
→その後、西魏は（ ）に、東魏は（ ）に代わった。
→581年、北周の外戚の（ ）が、（ ）を建国した。



楊堅(文帝)

とにかく奥さんが怖かった。浮気厳禁！

☆隋 (581~618年)

都…（ ） ※現在の西安

◆（ ）(在位 581~604年)

- 6世紀の中国北方では、モンゴル系の（ ）が滅ぼされ、トルコ系の（ ）が強力となっていた。
→583年、突厥を破り、東西に分裂させた。
- 589年、南朝の（ ）を滅ぼして、久しぶりに中国を統一した。

<隋の中央集権体制>

- 土地制度は、北魏以来の（ ）が採用された。
※北魏のころとは異なり、豪族への配慮はされなかった。
- 均田制にもとづき、（ ）という税制が実施された。
- 均田制にもとづき、西魏以来の（ ）という兵制が採用された。
→土地を支給された農民の中から、戸籍にしたがって兵士が集められた。
- 人材登用制度では、（ ）に代わって、（ ）を始めた。
→公正な学科試験を行うことによって、優秀な人材を集め、豪族や貴族が政治を牛耳ることを防いだ。



煬帝

本名は楊広。名君の要素もあったが、結果的に暴君になってしまった。最後は現実逃避に…。

◆（ ）(在位 604~618年)

- 南北に分裂していた中国を結びつけるため、（ ）を建設した。
→広い中国の経済・文化・政治を結びつけるなど、大きな効果があった。
→しかし多くの民衆を強制労働させたため、民衆の不満は急速に高まった。

<煬帝の対外政策>

- 607年、倭の摂政である（ ）から、使者が送られてきた。
- 611年以降、3度の（ ）を行うが、全て失敗した。
→これをきっかけに各地で反乱が起こり、618年、隋は滅亡した。



大運河

黄河~淮水を結ぶ通済渠と、黄河~涿郡(北京)を結ぶ永済渠が有名。21世紀の現在でも中国経済の大動脈である。



聖徳太子(厩戸王)

最近は実在しなかったという説もある。「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや」という文は、やっつけられましたという感じ。